

男は何度もマッチを擦りながら言いました。

「おれは**ワイルドだぜえ〜？**」

少女は何だか不思議な気分になりました。

まるで、夢を見ているようです。

男は続けて言います。

「国が防衛の為に必要だって言うから、

しょうがなく原子力推進してやったんだぜえ。

学者も国民も皆反対したのにだぜえ？**ワイルドだろお〜？**」



「都合の悪い学者は全員クビにして、

言う事聞く奴しか教授になれなくしてやったぜえ〜。**ワイルドだろお〜？**」

「うるさいマスコミは、広告費に毎年 1000 億以上使って黙らせてやったぜえ〜。

事実上、独占企業だから宣伝する必要無いのにだぜえ？原子力は大丈夫だぜえ

〜って無駄に宣伝しまくってやったぜえ？**ワイルドだろお〜？**」



「全然皆の為にならないし、原発立地する地域の住民が反対しても、金で黙らせて

やったぜえ〜。住民の理解ってのは、住民ってあた名の俺の親友が理解したって事

だぜえ〜？**ワイルドだろお〜？**」

「原子力で発電できるってだけで喜んで欲しいぜえ。核武装できるだけじゃなく、

発電もできて一石二鳥なんだぜえ？**ワイルドだろお〜？**」

「本当はいらぬ経費も全部国に認めさせて、世界最高の電気料金にしてやった

ぜえ〜。そうするしか収入増える仕組みが無いからしょうがないんだぜえ。役人も

給料上がるし、天下りもできて大喜びだぜえ。これが人情ってもんだぜえ？

**ワイルドだろお〜？**」

「設計基準も安全率も外国の基準も関係ないぜえ。

それっぽく作ればいいんだぜえ。**ワイルドだろお〜？**」

「設計通りに素人業者が施工しなくても、

シャブコンに岩盤からしみ出た地下水と混ざったりしても気にしないぜえ。

いい感じに写真撮って、ヒビは隠しながら監査させれば合格するぜえ。

**ワイルドだろお〜？**」

「原子力発電所は地震で壊れる事は無いぜえ〜。

**ワイルドだろお〜？**」

「活断層の地図が気に入らないから書き換えてやったぜえ〜。

**ワイルドだろお〜？**」

